

＜くめあて＞資料の分布の特徴を表す数値には、どのようなものがあるのか？

**範囲** または **レンジ** (範囲) = (最大の値) - (最小の値)

## 代表値

### 平均値

個々の資料の値の合計を資料の総数でわった値

### 中央値

 または **メジアン**

調べようとする資料の値を大きさの順に並べたときの中央の値

＜注意＞ 資料の総数が偶数の場合は、中央にある2つの値の平均値を中央値とする。

### 最頻値

 または **モード**

資料の中で、もっとも多く出てくる値

度数分布表では、度数のもっとも多い階級の階級値

練習1 あるゲームの得点です。

88, 75, 54, 92, 77, 86, 64, 48, 87, 80

練習2 ハンドボール投げの記録の

最頻値は？

(1) 範囲は？

得点の最大の値は92点、最小の値は48点  
 範囲は、 $92 - 48 = 44$  (点)

(2) 平均値は？

得点の合計は751点であるから、  
 平均値は、 $751 \div 10 = 75.1$  (点)

(3) 中央値は？

48 54 64 75 **77 80** 86 87 88 92  
 中央値は、 $(77 + 80) \div 2 = 78.5$  (点)

資料の総数が偶数のときは、真ん中にある2つの値の平均が中央値だね。

ハンドボール投げの記録(B中学校1年)

階級(m)	度数(人)
5以上10未満	1
10～15	3
15～20	4
<b>20～25</b>	<b>5</b>
25～30	4
30～35	2
合 計	19

最頻値は、度数がもっとも多い階級の階級値だから、22.5 (m) だね。

＜まとめ＞

- ・代表値を使うことで、資料の特徴を表すことができる。データの比較も簡単。
- ・目的や資料のようすによって代表値を使い分ける。